
フルメタル007

0007

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

フルメタル007

【Nコード】

N1719F

【作者名】

0007

【あらすじ】

ナイトファイア計画より一年。ナイトファイア計画はまだ終わっていないかった！日本を舞台に不死身の男ジェームズボンドと戦争バカ相良宗介が夢の競演！大コメディ・アクション！！

序章

PM23:00

ニューヨークのとある高層ビル。
屋上に影が二つあった。二つの影は逆の方に分散すると、高層ビルの中へと進入していった。

それから、数分後。

「このクソ暑くちゃやってらんねえよ。」

年配の男が大小様々なカメラがあるモニター警備室で悪態をついていた。

「だいたいよ、ここは施設がなっちゃんねえよ。いくら儲けてるのかはしらんが、しがない警備室にクーラーをよこさねえとはよお、ケチな会社だぜ。」

男は悪態をつきながらテーブルの上のコーヒーをすすった。
長いこと置いておいたせいで完全に冷めきっていた

「……シヨンベンでもするか……。」

そういうと、警備員は部屋を出た。

そして、警備員が部屋を出てから少し。突然、空気循環用のダクトから男が降りてきた。

男は目立たない作業員専用のスーツを着て、腰にはバックパックとダーツガンを付けていた。
それから、男は手際よく警備システムをいじった。慣れているようで、なんなくビルの警備システムを停止させた。
それから、そそくさと懐からダーツガンを取り出すと、ダクトに向けて発射し、華麗に戻っていった。

数分後

警備員は警備室に入り、深々とイスにもたれついた。

（なぐに、少し仮眠をとるだけよ。悪くねえ。）

5分後

警備員が深い眠りにつくと、モニターにはさきほどの男が部長クラス
の社員専用オフィスに立っていた。
彼はポケットからCDを取り出すと、デスクタイプ型のコンピューターにそのCDを読み込ませた。

<<<Q・ウイルスをインストールしますか?>>>

- もちろんだとも

<<<インストール中……>>>

- 一服したいもんだ

<<<フォルダを全てコピーしています……>>>

<<<完了>>>

「よくやったぞお〜。」

男、ジェームズ・ボンドはそう言うと、すぐにCDを取り出し元通りに帰る……ハズだった。

しかし、彼の後頭部に銃口を突きつける男がいた。

「残念だが、そこまでだ。」

ボンドが背後をとられる事は今までほとんどなかった。しかし、この男はたった今、いとも簡単にボンドの背後をとってしまった！

男はボンドに話しかけてきた。

「君にまた会えるとは、夢にも思わなかったよ。」

ボンドはこの男が誰なのかわからなかったが、声を聞いて一気に思い出した。自慢じゃなが、嫌いな奴ほどその声は忘れられない。

「お前と共に潜入したエージェントは殺したよ。私の愛銃でね。」

（愛銃とはよく言うよ……。少し釣ってみよう。）

「おいおい……、もしかしてあんたはあのプラモ銃をまだ使っているのか？」

ボンドはあざ笑った。

「そうだな、たしかにプラモ銃かもしれない。しかし、コイツのバネや内部のパーツは全て最高級の品だ。君も以前目の当たりにしたる？」

ボンドは黙っていた。

「至高の銃は最高の男のもとがよく似合う……。そうだろ？」

刹那、ボンドは時計を回した。すると、男が持っていた銃、黄金銃はバラバラになりながら、ボンドの方へと飛んでいった。

・Q課が開発した最新型の腕時計は一時的に、金属を集めることができるのだ。

「ちい！」

男・スカラマンガはそういうと、物陰に隠れた。なぜなら、ボンドの手には咄嗟にバックパックから取り出したワルサーPPKがあったからだ！

ダンッ！　ダンッ！

部屋中に銃声がこだました。

ボンドは何発か威嚇射撃をすると、窓に手をおき、指輪を回した。すると、防弾ガラスはいとも簡単に割れた。

それは、ザオの時に使った超高周波リングだ。

それからボンドは窓から思いっきり、ダイブした。

地上70メートル。そのまま落ちたら、すぐにあの世行きだ。

しかし、ボンドは背中の小型のリュック、別名小型パラシュートを
使い、なんとかビルより脱出した。

その様子をスカラマンガはじっと見つめていた。

彼の側でバラバラに落ちている黄金銃が月に妖しく照らされていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1719f/>

フルメタル007

2010年10月12日02時38分発行